一学期終業式の言葉

　コロナ対策で始まった１学期ですが、今日で１学期が終わります。

　４月当初は、皆さんも、先生方も不安な気持ちでいたと思いますが、臨時休業中となり担任の先生から出された課題に計画的に取り組んだおかげで、６月からの学校再開になっても、すぐに学校の生活リズムを取り戻し、学習を進めることができました。また、各学年総合や社会科等の見学や「なごみプール」での水泳学習などいろいろな校外学習を体験出来たことうれしく思います。休業を体験したからこそ、皆さんは、学校でみんなと一緒に勉強したり遊んだりすることがいかに大事か、また楽しい事なのかを感じることができたのではないかと思います。

さて、１学期の始業式に校長先生が皆さんにお話をした「よいこの約束」について覚えていますか？

　よいこの　「よ」　は、良いことをどんどんする。

　よいこの　「い」　は、命を大切にする。

　よいこの　「こ」　は、心を大切にする事でした。

皆さんは、意識していなかったかもしれませんが、校長先生は、一学期の皆さんの様子からみなさんの「よいこ」のがんばりの様子をたくさん見つけたので紹介します。〔掲示物〕

たくさんありますが、それぞれ一つずつ紹介します。

よい事をするでは、６年生は、いつも集会等の準備や片付けを、みんなで協力しながらやっていました。

命を大切にするでは、みんなが、新しい生活様式として朝の検温・洗い消毒・マスク着用などコロナ対策をがんばっていました。

心を大切にするでは、三年生が詩の暗唱を、合格するまであきらめずに何度も挑戦して、校長先生に聞かせてくれました。

これは、校長室の前に掲示しておくのであとで見てください。

校長先生が見つけたほかにもありますが、今日おうちの方に渡す通知表の中に担任の先生がたくさん書いてくれていますので、おうちで見て下さいね。

明日から２３日間の夏休みです、例年の半分くらいですが、それでも長いお休みです。

この夏休み期間も、「よい子の約束」を忘れずに、家庭や地域でも良いことをたくさんして下さい。また、海の事故や交通事故、病気にならないよう命を大切にしてください。

そして夏休みだからこそできる、挑戦する心、あきらめない心、感動する心などいろいろな心を大切にしてください。

８月２４日の２学期始業式で、体も心を一回り大きくなった皆さんに会えることを楽しみにしています。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長　永草いづみ

